TANAKA HIROHUMI
P R E S E N T S

RAKUGO
THE
FUTURE

JAPANESE TRADITIONAL
ENTERTAINMENT

RAKUGO THE FUTURE

文：田中啓文

第43回：さらば2001年大感謝セール

思い起こせばいろいろなことがあったなあ、２００１年は。２１世紀がはじまったときは、最初の一年にまさかあんなやこんなことがあるとは夢にも思わなかった。とくに１２月２０日過ぎてからの怒濤の天災・人災の数々は凄まじかった。いやはや驚きました。私もいま、焦土と化した大阪の焼け跡の片隅で、焼け残ったパソコンを探してきて、こうして原稿を書いているわけだが、果たしてこのエッセイがガイナックスに届くかどうかは神のみぞ知るというところか。なにしろ日本国内に使用できる電話回線は一本もないらしいので、アウトプットしたものを伝書鳩に託すしかないのだ。頼むぞ、伝書鳩！

クークルッククー。（バタバタバタバタバタ……）

さて、師は走り、弟子も走り、メロスも走り、寛平も走るというほど忙しい年の瀬。皆さんも、時間がない暇がない金もないと苛立っているにちがいない。

そんなときに長いエッセイなど読まされたらたまったものではないだろう。そこで私の気遣いとして、今回は小ネタ特集とすることにした。

え？　また手抜きだろうって？　とととととんでもない。親心ですよ。親心あれば水心というじゃありませんか。それでは参りましょう。２００１年歳末年忘れ特別感謝大セール１０連発を開催いたします。さー、いってみようかー。ばばんばばんばんばん、はびばのんのん……。

１．ある街にて

この街ーはーいつか来たー街ー。あーあーそうだよー。

なんか看板が多いなあ。それも横長看板ばっかりや。なになに、「スーーーパーーーマーーーケット」か。なんか読みにくいわ。あ、コンビニあるわ。「ファーーーミリーーーマーーート」か。腹へったから入ってみよ。「ステーーーキ弁当」に「ハンバーーーーグ弁当」……こんなん食べる気にならんなあ。よそ行こ。えーと……

「ラーーーーーメン屋」か。

うまそうな店や。入ろ。何があるねん、おっちゃん、メニュー見せて。

わっ、「メニューーーーー」か……。

なになに、「チャーーーーシューーーーメン」に「チャーーーーシューーーーミソラーーーーーメン」、「チャーーーーシューーーーキムチラーーーーメン」、「しょーーーーーゆラーーーーーメン」か……。メニュー読んでるだけでしんどなるなあ。食べる気なくなった。もうええわ。出よ。

こんな街にはおられへん。出ていこうとしてふと振り返ると、視界に入るものはただひたすら「ーーーーー

TANAKA HIROHUMI
P R E S E N T S

RAKUGO
THE
FUTURE

JAPANESE TRADITIONAL
ENTERTAINMENT

RAKUGO THE FUTURE

文：田中啓文

第43回：さらば2001年大感謝セール

喜ぶ南無阿弥陀仏
仏の道に貢献する
あああ、われらが河馬河豚商
事株式会社

これがほんとの、社歌に説法。

3．ある藩にて

最近は世相が騒然として、勤王だ攘夷だと、血の気の多い若侍が横行し、藩政が乱れておる。武士というものは、つねに冷静であらねばならぬ。頭に血がのぼっていては、いざというときに働きができぬ。む、そこにおるのは河豚田河馬右衛門ではないか。
「ご家老、わが藩も改革ののろしをあげるべきときがまいりました。このままでは時代の波に乗り遅れてしまいます。幕府が滅びるのは火を見るより明らか。薩摩に使者を送り、我らも尊皇の旗を掲げましょう」
何を申すか、世迷い言をいうな。徳川の土台は一朝一夕には揺るがぬわ。おぬしももう少し頭を冷やせ。
「そんな悠長なことを申しておるときではござりませぬ。さ、ご家老、ご決断を」
おぬしは頭に血がのぼっておるのじゃ。頭を冷やせと申すに。頭を冷やせ。
「頭に血がのぼっていてはいけませぬか！ 浦賀に黒船来航し、井伊大老桜田門に討たるるこの時世に、われら若い侍の頭に血がのぼるのも当然かと考えます。ご家老、頭に血がのぼっていてはいけませぬかっ！」
ええい、こ、こ、この鬱血者めがっ！

4．ある歯科にて

さあ、口をあけてください。
「先生、歯医者さんて儲かりまんねやろ」
とーんでもない、その逆です。歯科医ほど儲からない商売もないと思いますよ。
「そんなことおまへんやろ。これだけの設備そろえてはるねんから」
その設備が問題でね、すごい金がかかるんです。他の医者よりも、歯科は、ずーっと儲けが薄いですよ。下手したら、赤字です。しかも、こうして人の歯ばっかり見てるのも疲れます。疲労がたまるんです。疲れるだけで、文なしです。
「へー、どの商売も見かけだけではわかりまへんなあ」
昔から言うでしょう。医師で歯科はね、疲労、文なし、て。

5．あるピザ屋にて

本日、超ラッキーデイ。当店内で丸刈りの店員を見つけたかたは、ピザ半額！
「えーっ、これはお得やで。
丸刈り、どこや？」
「丸刈り、いた！」

6．ある選挙にて

「皆さま、高いところから失礼いたします。このたび立候補いたしました河豚田河馬介でございます。どうかわたくしに清き一票を賜りますよう心からお願い申しあげます。高いところから失礼いたします。河豚田河馬介でございます。河豚田河馬介、河豚田河馬介をどーぞよろしくお願いいたします。あ、そちらのお婆さん、高いところから失礼いたします。河豚田河馬介でございます。あ、そちらのサラリーマンのかた、高いところから失礼いたします……」
あの「高いところから……」ゆうてた候補、どないなったてか？ えらい苦戦したあげくに当選した、ゆうニュースが入ったんで、みんな驚いたんやが、どうやら虚報やったらしいわ。これがほんまの「高所・苦戦・虚報」。

TANAKA HIROHUMI
P R E S E N T S

RAKUGO THE FUTURE

JAPANESE TRADITIONAL ENTERTAINMENT

RAKUGO THE FUTURE

文：田中啓文

第43回：さらば2001年大感謝セール

７．あるカラオケボックスにて

　これか、歌の点数が出るカラオケゆうのは。さっそく歌ってみよ。馬鹿言ってんじゃないよおー、馬鹿言ってんじゃないよおー……。あ、点数でた。
「あはははは。たった１点かいなー」
　よく見ろ、馬鹿、１点じゃないよ。

８．あるアパートにて

　あそこの部屋、毎晩、小さい子の泣き声聞こえてくるねん。それも、ただの泣き声やないで。幼児虐待ゆうやつちゃうやろか。
　そうらしいねん。ご主人が子供をすごい折檻するねんて。奥さんはとめてはるみたいやけど、ご主人、お酒入ったらすぐに子供に手ぇ出すらしいわ。
　もしかしたら、ご主人のお名前、政治さんていいはるんとちゃう？
　たしか、そうやったけど……なんで？
　昔から言うやろ、折檻政治て。

９．あるホテルにて

　またサイレンか。ようサイレン鳴るなあ。
「東京都内は、冬になったらこれや。消防自動車のサイレンの聞こえん晩はないで」
　ふーん……サイレン都内とやな。

１０．あるお城にて（ウマ年正月用ネタ。年賀状にどうぞ）

　わたしは美貌の王女。親が決めた結婚相手なんか鬱陶しくって。いつの日か、白馬に乗った王子さまがわたしを連れにきてくれる……そう思ってずっと待っているの。待って、待って、待ち続けているうちに、とうとう適齢期を過ぎてしまったわ。
　あっ、あれは何？　白い馬に乗った凛々しいおかたがやってきたわ。
「お姫さま、わたくしと一緒にまいりましょう」
　ああ、長い間待ったかいがあったわ。夢がかなったのよ。白馬に乗った王子さまがやっと来てくださったわ。
「おい、待て。おまえは誰や」
　何だか下品な人が出てきたわ。
「誰って、わたくしは白馬に乗った王子だ」
「何を言うとんねん。その馬はわしの馬じゃ。わしこそが白馬に乗った王子じゃ。おまえ……人の白馬（しろうま）に乗るなっ」

　というわけで、あっという間の二時間でした。いかがでしたでしょうか、２００１年歳末年忘れ特別感謝大セール１０連発。
　何？　全然おもしろくなかった？　はははは……それはしかたありませんな。年末特番におもろいものなし。それじゃ、来年、またお会いしましょう。
　えんやー、こーらや、どっこいじゃんじゃんこーらや。風邪ひくなよ。

（了）

〈お知らせ〉
　１月９日に、学研M文庫から「UMAハンター馬子１　湖の秘密」が発売されます。伝統芸能おんびき祭文の語り手で典型的な大阪のおばはん蘇我家馬子（そがのやうまこ）と弟子のイルカが、日本各地を旅しながら、UMA（未確認動物）の謎を解明するという、本格伝奇ギャグミステリー。第１巻では、ネッシー、ツチノコ、キツネなどの秘密に迫ります。ウマ年の正月に馬子が発売になるなんて、これほどおめでたいことはありません。ウマ年の縁起物として、ぜひお買い求めください。